

今月の スポットライト Spotlight

会社概要と入社までの経緯を教えてください。

今と未来の豊かさをつくる

同友会入会のきっかけは？

尾鈴ミートは、豚の一貫生産を軸に、飼料製造や食肉加工・販売までを手がけています。私自身は2001年、23歳で就職しました。もともとは大学で史学、特に考古学を学んでおり、実は農業とは全く異なる分野に関心を持っていました。農場のすぐ近くに古墳があり、土地の歴史と向き合ううちに、徐々に「自分もこの場所の未来をつくりたい」と思うようになってきました。

当社の特徴は、設備産業的な側面が強い養豚業において、「エサは自分たちでつくる」という考えで、飼料コストや品質を自ら管理している点です。収益をあげるには、まだまだ時間がかかる事業ですが、長期的視野での価値づくりを大切にしています。

2010年に口蹄疫で全頭殺処分を余儀なくされ8月に終息、11月に経営再開というタイミングで入会しました。同友会を知ったきっかけは、地元で開催された中小企業振興条例の勉強会でした。当時は事業の再開と代表交代に向けて模索していた時期で、経営の柱となる考え方を探していました。ドラッカーや稲盛和夫さんの著書を読みながら、経営の本質を学ぼうとしていた頃でした。

入会した翌年3月には第9期「経営指針をつくる会」に参加。この経験が、以後の経営方針の基盤になっています。

「人を生かす経営」を大事な柱としています。社員の教育は「未来への投資」と捉え、理念を具体的行動に落とし込むために「CCS (Corporate Culture Standard)」を策定。定期的な面談や社内ブログを活用し、対話と共感のある組織づくりを進めています。

また、「なりゆき管理」から「目標管理」への転換も同友会での学びから来ています。この考え方が、再建から成長へ、そして未来を描く10年計画の基礎となりました。

これからの展望を教えてください

社員との対話や育成に真摯に取り組む遠藤さんのお話には、これからの地域企業のヒントがたくさん詰まっていました。ひむか支部6月例会での報告を、仲間とともに聞けるのを今から楽しみにしています。

取材
(有) 日高設備工業
日高 憲一郎



(有) 尾鈴ミート

住所/児湯郡川南町大字川南850-13
TEL/0983-27-1295
FAX/0983-27-0701
事業内容/養豚、食品加工

を入れていきます。

めざしているのは「循環型畜産」です。現在も食品残渣を飼料化する事業を行っていますが、カスケード利用による資源循環の仕組みづくり(飼料化、バイオマス発電によるエネルギー化、農業用の肥料化)をすすめています。また、社員の賃上げと生産性の両立にも取り組み、5年後には出荷額を現在の2.5倍に、営業利益率は平均10%確保を目標としています。

大切になっているのは、「薄皮を積み重ねるように価値をつくること」。同友会で得た「学び続ける姿勢」をこれからも持ち続けながら、社員とともに「この会社をつくっている」という実感のある組織をめざして、歩み続けます。

DO YU 活動ズームアップ

〔宮崎南支部〕 アイカツ番外編

4月23日、宮崎南支部アイカツ番外編「会員さんの事業を知ろう」という企画の第2弾がありました。会員さん2人が事業を紹介。例会顔負けのエピソードもあり聴き応え十分でした。紹介の後は、いい感じのゆるさで盛り上がりしました。2025年度は正式な活動として計画しています。お話ししたい方も募集中です！



〔青年部会〕 ビジョン会議

4月17日に第3回みやざき青年ビジョン会議を開催。ビジョン会議は今年で3回目の開催で宮崎の青年団体5団体が集まる学び交流する場です。今回は宮崎の女子サッカーチームであるヴィアマテラス宮崎の代表 秋本範子氏にご報告いただきました。「地域」とのつながりを大切にし、約1,300チームのトップになったヴィアマテラスさんの報告は分かりやすく非常に学びになるものでした。今後も他団体との連携を強めていきます！



〔共同求人委員会〕 学園短大との懇談会

5月14日、宮崎学園短期大学において「学内企業説明会」が開催され、共同求人委員会から16社が参加し、同短大現代ビジネス科の1・2年生約70人の学生に各企業の事業内容や魅力とともに地元企業で働くことの意義を語りました。毎年この説明会がきっかけとなって新卒採用につながっています。参加企業の中には同短大出身者を同席させている企業もあり、各企業ブースは大いに盛り上がりしていました。



＼新着まだまだ、たくさん活動しています！/
活動内容は
同友会Facebookでも配信中!!



5月理事会報告

日時：5月29日(木) 17:00～20:00 於：宮崎市民プラザ&Zoom会議
理事29名中21名出席(出席率72.4%) + 事務局3名

01. 前回理事会(4月18日)から以降の活動の経過報告を確認するとともに、5月28日までの3名の入会申し込みと4名の退会申出を承認しました。会員数は463名。また、パート事務局長として、中川順一郎さんを6月2日より採用したことが報告されました。

02. 県総会および支部総会、青年部会総会を振り返って
(1) 県総会については、迎組織強化推進協議会座長より、「アンケートで寄せられた参加者の声は、自社での実践にこうつながっているというものが多かった。しかし、参加者が少なかったのが残念」という報告がありました。この点は、来年度総会づくりに反映していくことを確認しました。
(2) 支部総会及び青年部会総会について、それぞれのこの3年間の参加者数・参加率を確認するとともに、各組織の代表より総会の感想と今期活動の目標が述べられました。

03. 各推進協議会から
(1) 組織強化推進協議会より、
①今年1月の開催につづき、西都市で「同友会を知る会拡大バージョン(例会)」を7月28日(月)、西都商工会議室で開催。報告者は、(有)東栄空調の東郷浩二氏(宮崎北支部)、座長は(株)島大組の宮島孝美氏(きりしま支部)。参加目標50名。
②つづいて今期2回目を、9月29日(月)に、同じく西都商工会議室で開催。座長は(株)おりなす建材の那須久司氏(県北支部)。報告者は6月19日の組織強化推進協議会で提案をもとに検討する。
(2) 人が育つ会社づくり推進協議会より、秋の役員研修会を9月20日(土)、「同友会を強くする役員の成長」という視点でつくり、11月のフォーラムにもつなげていくという提案があり、これを確認。

(3) 地域づくり推進協議会より、
①中同協・経営実態調査への協力要請
②6月12日(木)中小企業魅力発信月間キックオフ行事(オンライン開催)への参加要請
③6月16日～6月30日実施の「4-6月期景況調査」への各組織で回答の促進要請。

04. みやざき中小企業経営フォーラムについて、
①小原第34回実行委員長より第3回実行委員会報告。基調講演や分科会の報告者案について、理事会からも組み立ての提案があり、実行委員会で検討を深めることを確認しました。
②県北支部より「2027年度の第36回フォーラムの設営を担当したい。2017年に日向での開催以来10年ぶりとなる。そこに向けて2年間増強に取り組み、支部の活性化をはかっていきたい」と申し出があり、これを承認。それに伴ない、2026年度フォーラムの設営担当の検討の必要が提起され、宮崎北支部幹事会で検討して次回理事会で報告することを確認。

05. 宮崎同友会30年史の制作について、那須代表理事からの提案をもとに検討し、一口1万円で協賛を集めることを確認しました。
06. 各理事が準備した自己紹介シートをもとに、今期の経営目標と理事としての目標を交流しました。

赤ちゃん誕生!! おめでとうございます



うと社会保険労務士事務所
所長 宇都陽一郎さん
(宮崎北支部)に
第2子 (ひかり)
(長女) 陽加里ちゃん
が誕生しました。



4月25日に、ホテルニューウェルシティ宮崎にて開催された第34回定時総会の記念講演の要旨をご紹介します。

新しいステージへ 、労使見解発表から50年、 いま中小企業家に求められていることは



中小企業家同友会全国協議会 会長 広浜 泰久氏
(株)ヒロハマ 取締役会長・千葉同友会)

社員数…128名(うちパート・アルバイト30名)
年 商…44億3,630万円
事業内容…金属缶用口金・キャップ・手環の開発・製造・販売及び技術支援

はじめに

宮崎同友会の第34回総会の開催おめでとうございます。昨年は、第52回青年経営者全国交流会の設営を担当いただき、成功へと尽力いただきありがとうございました。

ご案内いただいたように『労使見解』が発表されて50年が経ちました。同友会では様々な運動が展開されていますが、それぞれの運動の根底にあるのは『労使見解』、いわゆる人間尊重の考え方があると思っています。『労使見解』と一緒に歩んできた自分達の今の立ち位置に伴う使命はどういうことなのかを皆さんと共有していきたいと思っています。

我が社は、一斗缶についているキャップ



を製造販売しています。ほとんどの製品を自社で開発していて、「部品だけとメーカー」との自信を持って仕事をしています。ただ、一斗缶の製造数というのは減り続けています。1990年頃に一度ピークをむかえ、バブルが崩壊すると共に少しずつ製造の量が減っていきました。全盛期から見ると半分ぐらいの市場規模になっている業界です。そういう中で、同友会で学び実践し、特に経営指針に取り組んだことで、ライバル会社とのシェア率が逆転し、50年間ナンバー2のポジションでしたが、ナンバー1になることができました。現在では、全国シェアの65%ぐらいになっていて、市場規模縮小の中、売上も過去最高を更新し続けています。

経営者は数字で話す

その課題のポイントをすべて書き出して優先順位をつけていきます。きれいな事ばかりが書かれている経営指針書だと会社は潰れてしまうので、生々しい所も含めて書き出して、対応を考えていきます。そのときに、社員一人ひとりがPDCAを回せるようにしておくことが大切です。

経営指針書を、社長や幹部社員がつくっているとしたら、どこでつくられた計画となってしまう。そう感じられるとやらされ感が生まれます。我が社でも、各部門で何を誰がしますという業務計画をつくっています。1年間は52週あるので、自分がレベルアップするための「52週課題」として、週ごとに振り返り、次の改善策を考えます。毎週末に結果を報告してPDCAを回すと、新しい課題や課題への改善進捗が見えてきます。数字は、それを改善できる人達が算出してコントロールす



実践は、スケジュールに 落とし込むことから

同友会には1990年に入会しました。最初に出た例会から皆さんの気づきを得ることができました。どこの同友会でも同じだと思いますが、真面目に例会に参加していると「支部の役員をしないか」と声をかけられます。私も入会して1年後には支部の役員になりました。

当時、千葉同友会には、支部の役員になると県の何かの専門委員会に入らないといけないというルールがありました。私は、どこの委員会にも入りたくはありませんでしたが、入会前に労働問題ですごく苦労した経緯があったので、労働委員会に入ることに決めました。しかし、委員会活動に積極的ではなかったたので1年間参加しませんでした。ですが、年度末最後の1回ぐらいは行かないといけないかなという変な義務感で参加したことが、自分の人生を変えた出来事となりました。

委員会に参加すると、当時の委員長と副委員長の2名しかいませんでした。年度最後の委員会なので「今日は次期役員を決める会です。いきなり委員長とかわいそうだから副委員長ね」と言われます。そうだから副委員長ね」と言われます。断れる雰囲気でもなく、「分かりました」と承諾すると、「副委員長は自動的に県の理事だから」と理事も引き受けることになりました。理事を1年間やると、「次は常任理事ね」、「次は副代表理事ね」とどんどん話が大きくなって、結果的に入会して5年で代表理事をさせてもらうことになりました。

形を取っています。数字をコントロールできるようにするとモチベーションが上がります。自分達が頑張ると数字がこう変わると実感できると自分達が変わった意識です。そこうれいものです。そういう数字はほとんど共有した方がいいと思います。

ここで大事なことは、経営者は、数字でものをいう癖をつけないといけないということです。例えば、取引先から至急の注文があったとき、社員に「至急これをお願い」と頼むと思います。しかし、至急ってどのくらい至急ですかね？1時間後？1日後？今週中？はつきりしないと対応ができません。なので、具体的な数字が大切になります。我が社では、納期遅れが問題でした。担当者にどのくらい納期遅れがあるのか聞くと「かなり多いですよ」という回答が返ってきます。部門長に聞いても「すくく多いですよ」という認識しかありませんでした。実際の納期遅れがどのくらいあるのかを調べたところ月に約300件ありました。数字がハッキリしたことで、この件数を200件、100件と、どう減らしていくかを具体的に対策することで無くしていくことができました。

「新しいステージへ」

いま同友会では、「新しいステージへ」と問題提起をしています。これには2つの意味があります。

一つ目は、同友会は自主的に立ち上がり、運動を進めてきた会です。今では当たり前のようにある委員会も自主的にはじまっています。それぞれの委員会が自主的

早くから代表理事をさせてもらえたということもあって、代表理事を13年間勤め、その後中協の幹事長、今は会長をさせてもらっています。入会以来、『労使見解』はもちろん、経営指針、共同求人、社員教育も学び実践を続けてきました。今の社員の約8割が共同求人活動で採用した社員になっています。

同友会の会員として、自分なりの Motto があります。それは「実践」です。抽象的な意味ではなく、具体的に取り組んできました。例会などに参加してメモを取りますが、それだけでは実践につながらないということは分かっていました。ここは重要だと思うところに印をつけて、自社に照らし合わせるとういうことだと書き出します。さらに細分化して最終的には自分のスケジュール表に落とし込むとさすがに実践するんですね。「いいことを聞いた。学んだ」と思っても忘れてしまうということがあったので、必ず自分のスケジュール表に落とし込んでいます。

道徳的なことはでこまかすな！

以前、ある経営者の方とお話ししていて、その会社は、介護関係の仕事をやっていた。利益が出しやすいとは言えないですね。長時間労働もさせている。一人の人間として生活できる環境。年収でいうと400万円ぐらい払える会社にした」ということでした。「そうですね。ところであなたの会社の人時生産性はどのくらいですか」と聞きました。「人時生産性」とは、社員一人が1時間あたりどのぐ

に活動を進めてきたので、経営指針は経営指針、共同求人は共同求人、となっていました。そういったなかで、「経営指針がないのによく採用ができていいるな」、「人の採用もしていないのに経営指針でもないだろう」という話がでていました。双方の言い分を見ても分かるように、総合的に取り組まないと本当の成果はだせないというところで、いろんな運動が有機的に展開されるようになってきました。企業づくり・地域づくり・人間尊重という運動展開ができていいるのは同友会だけです。これは、『労使見解』に貫かれた運動の側面が大きいです。

二つ目に、「失われた30年」と言われますが、同友会はその間会員を増やし発展してきたという事実があります。しかし、この事実には違和感があるという声が上がりました。同友会が発展しても、日本経済に対して大きな影響を与えられなかったという事実もあるということです。同友会が周りに対する影響力はそれほど大きくなかったということは素直に認めないといけないです。

しかし、これからの時代は、自分達だからこそのことができる人がたくさんあるはずと、使命感をもって新しい同友会運動を展開していくべき立ち位置ではないかと思えます。中小企業そのものが周りから尊敬され、自分達自身も誇りを持ち、中小企業としての社会的地位を向上させていくという運動を同友会として先頭に立ってやっつけようということを、会全体として確認しているところです。

宮崎南支部

ナイフ宮崎 代表
(株)ビューフィールド 代表取締役
(株)カーオレンジ 代表取締役
内布 省吾
前島 崇志
南平 義春

2025年度、宮崎南支部は「成果につながる学び合いと実践」をスローガンに掲げ、同友会で得た学びを確かな実践へと昇華させる活動に取り組んでまいります。昨年度、宮崎の地で開催された青年経営者全国交流会と経営フォーラムを通して、私たちは全国・県内の多くの仲間たちと出会い、多様な経営の視点に触れ、大きな刺激と学びを得ました。今年度は、それらの学びを自社に引き寄せ、実践を通して成果に結びつけていく年です。例会では「企業変革支援プログラムVer.2」にもとづいた6つのテーマで、自社と経営者自身の立ち位置を見つめ直し、課題の明確化と実践につながる深い

議論を行います。さらに、少数数での交流を深めるアイカツ、同友会の価値を伝える「同友会を知る会」、仲間とのコラボレーションを促す取り組みを通じて、より強固な支部の絆を築いていきましょう。今年度も、仲間と学び合い、実践し合い、支え合いながら、「よい会社・よい経営者・よい経営環境」の実現をめざしてまいります。



宮崎北支部

(株)アドカム 代表取締役
ピシャット内装 代表
(有)もりなが 代表取締役
(株)愛Life 代表取締役
山直 幸
立山 智洋
日高 康博
光行 新哉

今年度宮崎北支部は「動け！変革の実践者！」をスローガンとして活動展開してまいります。今期は学び合う場の根本である「例会」を6回開催します。「企業変革支援プログラムVer.2」のカテゴリーをテーマに会員が自社経営を見つめ直すことができる内容で展開します。宮崎同友会、宮崎北支部が「盛り上がる」ためには、やはり会員の皆様のご参加が必須となります。宮崎北支部の会員の方の中には、まだ「入会はしたけど、どうゆう会なのか、どう参加してよいのか」という方がたくさんいらっしゃると思います。学びの場を学び合いの場へ変えなければなりません。

また会員一人ひとりの関係性を、学びの場を通じて深くしてまいります。経営者それぞれが持つ「経営実践」や「経営課題」を気兼ねなく話せる場となることで、自身の経営に対しての「変革」を実践できる場として、動き始めると考えています。会員のひとりの繋がりを大切に、宮崎北支部を盛り上げて参ります。



理事会

(株)おりなす建材 代表取締役
(株)島大組 代表取締役
那須 久司
宮島 孝美

2024年度、宮崎同友会は大きく飛躍を致しました。青全交in宮崎の成功を始めて、多くの議論や活動を進めて参りました。役員並びに会員の皆様に感謝を申し上げます。今年度は前期の成果を踏まえて、宮崎同友会の新しいステージを展望するキックオフの年にしていきます。まずは会勢の拡大として「増やす」と同時に退会を抑えていきます。そのメインとなる活動が充実した例会づくりです。会員の学び合いの場づくりとして企業変革支援プログラムVer.2を活用した例会の開催、各支部とも開催回数を増やし、質量ともに充実しています。また、

空白地域での例会開催を今年も行い、同友会を地域にひろげる取り組みも進めて参ります。同時に対外的知名度を上げるために会活動の発信に留まらず行政や他団体等との交流を増やし、同友会運動についての理解を広げます。総会で決議した一般社団法人化への具体的な手続きを進め、来期には法人化をすることで対外信用を高めていきます。今年度は次のステージに向けたワクワクする活動で盛り沢山になると思います。宮崎同友会は羽田空港のようなものです。そこいらじゅう機体(期待)でいっぱいです。

同友会理念と歴史を学び 継承して 新しいステージへの 展望をひらこう

2025年度にかける
代表理事・各支部代表幹事・
青年部会部会長の決意!!

青年部会

うと社会保険労務士事務所 所長 宇都 陽一郎

昨年開催された「青全交」では多くの会員が役を担いそれぞれが大きな学びを得ました。6期目となった今年度はその学びを生かし、さらなる発展への第一歩を踏み出す年です。青年経営者が悩みを解決できる場所であり、仲間をつくれる場所であり、経営者として成長できる場所が青年部会です。私たちは青年部会活動を未来への投資と考え、44歳で卒業という明確な区切りがある中で様々な役割を経験し、経営者としての視座を高めていきます。今期のスローガンは「仲間とつながろう」です。お互いを知り、違いを認め、あてにしあてにされる関係をつくり、主体的な仲間を増やしていきます。6月に鹿児島で開催する

る九州・沖縄ブロック青年部合同例会では(有)東広告社の東由子さん(青年部会幹事長)が、11月に開催される香川青全交では(有)永峰養豚場の永峰智浩さんが報告します。分科会づくりや当日に参加する仲間を増やし、次の世代の会員に「自分もやってみたい」と思ってもらえるような学びの場をつくっていきます。



きりしま支部

(株)都城印刷 代表取締役
(株)ハピネス 代表取締役社長
(株)ハラケアシシステム 代表取締役
ダブルハウス(株) 代表取締役
田中 賢一
丸山 将史
原 秀直
渡会 真也

都城市では昨年4月に「中小企業・小規模企業振興基本条例」が制定されました。これは約10年に渡りきりしま支部が都城市・都城商工会議所と三者協定を結び活動が続けてきた成果が大きいと言えます。今期はこの条例制定を受けて産官学金が一体となつて未来の地域づくりに向けた取り組みが始まります。三股町でも条例制定に向けた動きがスタートしました。ともに同友会事務局・きりしま支部会員が深くかわつていきます。今期、きりしま支部は来期200名会員達成に向けて、支部会員180名を目指します。昨年度発足した会員増強の取り組み「ファイト200」を

より強化していくとともに、小グループ活動を活性化させ、きりしま支部全体をより一層盛り上げていきます。きりしま支部らしい積極的な部会活動と例会づくりを通して、会員一人ひとりが同友会活動と自社の経営課題を結び付けて考え、自主性をもつて参加・活動できる「場」づくりに、真摯に取り組んでいきます!!



ひむか支部

(株)島子商店 代表取締役会長 川上 幸子
(有)日高設備工業 代表取締役 日高 憲一郎

2025年度ひむか支部は「自社経営と同友会活動の不離れ」をテーマとして「DE&I」をテーマに掲げ、学びと実践を通じて地域と企業の未来を切り拓いていきます。急速に進む人口減少、若者の地元離れ、高齢化といった課題に直面する今、私たち中小企業家が自らの使命を自覚し、地域の中で果たすべき役割を明確にし、主体的に行動することが強く求められています。今年度は「強くなる・増やす・つなぐ」という3つの柱を軸に、例会や地域連携、小グループでの交流を活性化させ、会員一人ひとりが自社経営に生かせる学びと出会いの機会を創出していきます。今年11月にひむかの地で開催する

「みやざき中小企業経営フォーラム」は、支部の団結力と実行力を内外に示す絶好の機会です。準備を通じて、会員同士の関係性を深め、成長の場として生かしてまいります。期末会員数40名達成を確実なものとするため、支部一丸となって取り組みます。学び合い、支え合い、未来を語り合える仲間を増やしながら、笑顔と活力あふれるひむか支部を築く1年にします。



県北支部

(株)グローバル・クリーン 代表取締役
(株)コノハナ 代表取締役
(株)中仙 代表取締役
税田 和久
塩谷 愛藍
中山 章博

本年の県北支部は、10年後の未来を見据えた「県北支部10年ビジョン」策定に向けて、学びと経営交流の場づくりを強化してまいります。例会は年間9回開催し、「企業変革支援プログラムVer.2」や「人が育つ会社づくり」「DE&I」をテーマに、多様な学びを提供します。特に例会準備を通じて新会員や会歴の浅い方の成長機会を創出し、参加率40%の達成を目指します。加えて、財務・労務学習会や経営指針勉強会、職場体験やインターンシップの受け入れ推進、全国行事や他支部例会への参加促進を通して、地域と企業の未来づくりに取り組みます。仲間づくりでは、広報活動や新会員

オリエンテーション、懇親会等を通じて組織の強化と魅力向上を図ります。また、産学官金との連携を意識し、中小企業振興条例を含む地域政策への関与を深めていきます。支部活動のすべてが「よい会社・よい経営者・よい経営環境」の実現につながるよう、幹事会が率先して「活動に参加したくなる支部づくり」を牽引してまいります。



旅行業界は現在、オンライン予約の普及によって、従来の手数料収入が減少傾向にあります。不確かな情報や安全性に欠けるものも多い中で、お客様が知らない正確な情報を届け、安心・安全を提供することが私たちの使命です」と語っています。

特に高齢の利用者や海外旅行に慣れない方からは、「細かく説明してくれて安心できる」といった声が多く寄せられています。こうした一人ひとりに向き合った丁寧な対応が、長年地域から支持されている大きな理由のひとつです。

「旅で得た感動や経験を、地元を持ち帰り、日常を豊かにする」この考え方は、アレンジトラベルが大切にしている考えのひとつです。杉村代表は、「たとえば、海外で異文化に触れることで価値観が広がり、地元での生活にも新たな気づきが生れます。そういった『持ち帰る旅』をもっと増やしていきたいと考えています」と話します。



接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

接客の質を保つ一方で、労働時間や賃金体系のバランスを整えていくことが大切だという考えです。安心して働ける環境があるからこそ、お客様にも

訪問記 Vol. 62 ほうもんき

地元根ざした旅行代理店として、株式会社アレンジ／アレンジトラベルは1994年に創業しました。拠点は宮崎県都城市です。2007年には、現在の事務所へと移転しました。

創業者である中山忠彦氏から事業を引き継ぎ、2025年3月に杉村氏が代表に就任しました。現在は、役員2名・社員3名・パート2名の計7名体制で運営されています。長年勤務しているスタッフも多く、地域との信頼関係を築きながら事業を展開しています。



(株)アレンジ

代表取締役 杉村 善隆さん

〔きりしま支部〕

日常を豊かにする 感動や経験を

が難しくなっています。不確かな情報や安全性に欠けるものも多い中で、お客様が知らない正確な情報を届け、安心・安全を提供することが私たちの使命です」と語っています。

が減少傾向にあります。旅行会社には、新たな収益源を見つけないことが求められ、業界全体での構造改革も必要とされています。

より良いサービスが届けられる。その両立を目指す姿勢が、今後の組織づくりの鍵になるといえます。

「安全な旅を提供し続けるために、変化を恐れず挑戦を続けていきたい」この言葉には、杉村代表の強い覚悟と未来への意志が込められています。

出張の手配って、実はけっこう面倒ですよ。飛行機や宿の空き状況を調べて、スケジュールを調整して…と、気づけば多くの時間を費やしてしまいます。そんなときこそ、地元密着で信頼できるアレンジトラベルに一度頼ってみてはいかがでしょうか。旅のプロが、あなたの移動をスムーズに、そして快適にしてくれるはずですよ。

取材
(株)別府損害保険事務所
代表取締役 別府 昭人
合同会社花菜 代表 村山 美佳



(株)アレンジ

住所/ 都城市松元町2-4
TEL/ 0986-26-9000 FAX/ 0986-24-0020
事業内容/ 航空券手配、宿泊パッケージ、宿泊プラン、鉄道・高速バス・フェリーなどの交通手配、団体旅行の企画・手配、団体バスの手配、添乗業務

UP DATE information

会員登録情報変更

(株)yoasobi 支社長
橋本 信治さん(宮崎北支部)

新 Professional Umpiring Service 代表
変更に伴い、
事業内容も
「審判員育成オンラインスクール」に
変更されました。

社会保険労務士こまき事務所
代表 小牧 哲郎さん(きりしま支部)

新 社会保険労務士コミット
都城市都島町 901-2
TEL/0986-21-3247
FAX/0986-21-6935

役職変更

(株)MFE HIMUKA
代表取締役 島原 俊英さん(県北支部)

新 取締役会長に就任されました。

(株)アレンジ 杉村 善隆さん(きりしま支部)

新 代表取締役に就任されました。

支店オープン

(株)コノハナ

代表取締役 塩谷 愛藍さん(県北支部)が、
新 宮崎市谷川1丁目4番7号 アームビル106
(TEL/0985-77-7880)に
宮崎支店を開設されました。

(株)こころケア

代表取締役 橋口 英治さん(52歳)

佐土原町を中心に、医療福祉・障がい者を対象とした事業を展開しています。訪問看護・入居施設を通して、地域の人々が安心して過ごせる地域づくりに努めてまいります。



宮崎市佐土原町下田島20312-32
TEL / 0985-72-0365
業種 / 医療業(訪問看護)

(株)Reiwa

代表取締役 福永 大騎さん(34歳)

宮崎市青島でいぬと泊まれる1棟貸しコンテナホテルを運営しています。ばれるサウナやジャグジードッグランがあります。海まで歩いて1分でサーフィンや海水浴にぴったりです。



宮崎市大字加江田字小園4693-36
TEL / 090-4828-0605
業種 / ホテル運営

晴峰商事(株)

取締役 森田 あすかさん(32歳)

宮崎県内の病院・介護施設・保育園などに食品を卸している会社です。「社会の食生活改善向上と豊かな食品の供給を目指す」という理念のもと、安心安全で便利な商品をお客様にお届けしています。



宮崎市大字細江3364-5
TEL / 0985-48-5151 FAX / 0985-48-5152
業種 / 業務用食品卸(一般食料・治療食・介護職)

NEW FACE

今回のご紹介は4月19日～5月30日に入会された2名の新会員さん(支部別・50音順)です。

県北支部	60名
ひむか支部	28名
宮崎北支部	136名
宮崎南支部	79名
きりしま支部	160名
合計	463名